まち育てだより

木下まち育て塾
第 7 号
2010年 2 月発行

追悼「鈴木元臣」短歌展

平成 21年 10月18日(日)・11月7日(土)・12月5日(土)

鈴木元臣氏は、木下まち育て塾の顧問でもあり、前印西市芸術文化協会会長、前印西市短歌連盟会長、印西市史編纂委員、元議会議員、木下ばやし保存会代表など、印西市の発展と芸術文化の振興に多大なる功績を残されました。

鈴木元臣氏が、昨年８月惜しまれつつ７９歳の生涯を終え、木下まち育て塾では、氏の追悼として印西市短歌連盟との共催により企画展を実施しました。

元臣氏の作品を一挙に公開した

共催の印西市短歌連盟の方々

この企画展により、木下の魅力を内外に発信し、多くの方が木下に目を向けていただいたと思われます。

また、元臣氏は、木下万葉公園の展望台に建立された木下音頭の歌碑の書や、竹袋稲荷神社に歌碑を奉納しており、氏の書も後世に受け継がれることでしょう。

まちかど津軽三味線

最終日には、孫の徹氏による津軽三味線を披露していただきました。当日は、吉岡まちかど博物館において行う予定でしたが、雨によりコスモス会館に移動して行いました。約７０人の見学者で会場は賑わい、企画展を盛り上げていただきました。

三味線１本で世界を周ってきた元臣氏の孫　徹氏

会場は大賑わい